

人と作品、人と人、人と場所をつなぐ

# Art Communication

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなアート・コミュニケーション・プログラムを展開しています。今回は、SDGsで建築を探究?!「Museum Start あいうえの」のファミリー&ティーンズ・プログラムを紹介します。

The Museum offers art communication programs designed to take visitors beyond simple viewing to a deeper "experience" of the artworks. This time we look at a "Museum Start iUeno" Family & Teens Program—"Exploring architecture through the lens of SDGs"

## ファミリー&ティーンズ・プログラム

### 「SDGsで探究! 名建築をみる」

Family & Teens Program

"Through the lens of SDGs! Exploring architectural masterpiece"

museum start

あいうえの

2021年度のあいうえの「ファミリー&ティーンズ・プログラム」では、1day、2days、3daysの3種類のプログラムを実施。なかでも、1dayプログラムでは、SDGsをキーワードに当館の建築をみる、というプログラムを実施しました。

In fiscal 2021, three kinds of programs were offered under the iUeno "Family & Teens Program": 1-day, 2-days, and 3-days. Among them, the 1-day program took Sustainable Development Goals (SDGs) as a keyword for exploring the Museum building.

### 「Museum Start あいうえの」とは?

What is "Museum Start iUeno"?

上野公園の9つの文化施設が連携して取り組む、子どもと大人が創造的に学び合う「アクティブ・ラーニング・プロジェクト」。「すべての子どもにミュージアム体験を!」をモットーに年間を通して「観察と鑑賞」と「対話」を基本にした参加型プログラムを実施しています。先生でも親でもない第3の大人「アート・コミュニケータ(とびら)」と一緒に活動することも「あいうえの」の特徴です。

"Museum Start iUeno" is an "active learning project" conducted jointly by 9 cultural facilities in Ueno Park. Its aim—to foster an environment where children and adults can creatively learn together and from each other. Under the motto, "Aiming to give a special museum experience to every child," participatory programs founded on "observation and appreciation" and "dialogue" are held throughout the year. The project's special feature is its "art communicators" (*Tobira*), a third adult, neither teacher nor parent, who joins participants in activities.



### 建築をSDGsで観察すると…?

Exploring architecture through the lens of SDGs

「SDGsで探究!名建築をみる」では、SDGs\*をキーワードに当館の建築を探検し、観察します。現在の建物は、日本のモダニズム建築を牽引した建築家・前川國男の設計により1975年に竣工しました。21世紀の現代においても、その建築に込められた思想に多くの人が関心を寄せ、奇数月第3土曜日に行っている建築ツアーは、募集開始後すぐに満席になるほど人気があります。

例えば「平凡な素材で非凡な結果を出す」、「公園からの視界を遮ることなく、広場の続きのような場所であるように」などの考えを設計に反映していますが、それらは「建築は100年もつものでなければならない」という前川の建築に対する思想に基づいており、今で言うところの



参加者から投稿された冒険ノート。冒険ノートはQRコードからご覧いただけます

Adventure's Notebook posted by participants  
For other notebooks, please see <https://museum-start.jp/book>



活動中の様子 Scene of activities



SDGsに通ずる点があります。設計した当時にはSDGsという概念はありませんでしたが、高度経済成長の時代としては、とても先駆的な考え方で設計したことがわかります。

このプログラムでは、前川の設計における工夫に着目し、子どもたちと当館の建築を観察しながら巡ります。探検に出かける際には「誰かに教えてあげたいと思うところを探せ!」(小学1~4年生)、「100年後に残したいと思う場所(もの・空間)を見つけよう」(小学5年生以上)など観察のポイントが書かれた「シレイショ」が渡されます。

子どもたちはグループに分かれ、とびらと一緒に、椅子や床、天井、照明など普段は見見過しそうなところにも注目しながら、色や形、素材など「なぜそうなっているのかな?」と、観察していきます。参加した子どもたちには、あいうえの特製ツール「ミュージアム・スタート・パック」も手渡されます。帰宅後にツールに入っている「冒険ノート」に発見したことを記録しウェブサイト投稿する仕組みがあり、実際に美術館を見て体験し、後日各自がオンラインで発表することにより、美術館体験を深めていくことができます。

子どもたちの活動中に、保護者には子どもと一緒に美術館・博物館へ出掛ける際の「コツ」を伝え、その後、子どもたちの活動の様子を見る時間を持ちます。保護者の事後のアンケート

には「初めて会う同年代の子どもたち、とびらの方と“同じ目的をもって行動する”ということに怖気づかず楽しく過ごせたことに驚くとともに、成長している子どもの姿を見ることができました」、「講堂に戻ってきた娘が楽しそうに発見を話してくれた」、「(子どもが)主体的に観察できる場がよかったです」などの感想が寄せられました。

子どもと大人と一緒に心地よいミュージアムスタートができるよう、これからも良質なプログラムの実施を続けていきます。2022年度のプログラムラインナップは、2022年5月頃にあいうえの公式サイトで公開予定です。

(東京都美術館 学芸員 河野佑美)

Museum Start iUeno offers programs for families and teenagers. One is "Through the lens of SDGs! Exploring architectural masterpiece," a program for seeing and discovering the architecture of the Museum building. Along with art communicators (*Tobira*), children explore every corner of the architecture of this museum, which architect MAYEKAWA Kunio designed in the 1970s based on forward-looking thinking that anticipates today's SDGs. In content, the program enables participants to appreciate the museum's spaces using their body and senses.

Comments from parents include, "It was surprisingly fun to be active under a common purpose with people we had never met before—children of the same age and *Tobira*—without feeling nervous. We also could observe the children's process of maturing." iUeno will continue to implement high-quality programs so that children and adults can comfortably make their museum debut! The fiscal 2022 program lineup will be announced around May 2022 on the official iUeno website.

(KONO Yumi, Associate Curator, Learning and Public Projects)



Museum Start あいうえの  
公式サイト